

機械器具 58 整形用器具器械

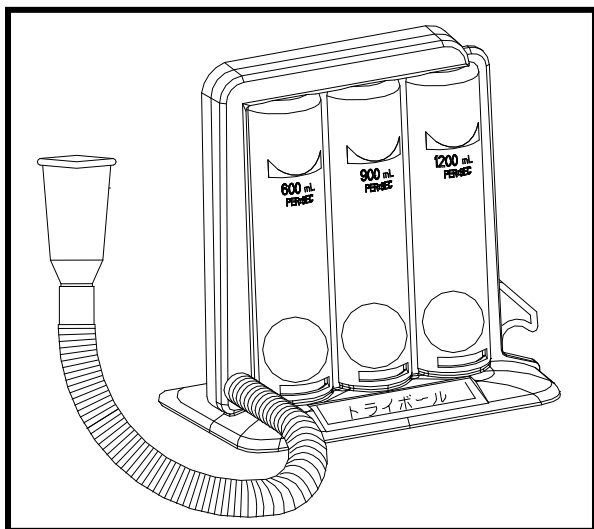
一般医療機器 非能動型呼吸運動訓練装置 JMDNコード 11634001

## トライボール

### 【禁忌・禁止】

1. 次の患者や状態の時には使用しないこと。
  - (1) 患者の協力や理解が得られない場合
  - (2) 呼吸・循環予備能が乏しく、深呼吸の持続が困難な場合
  - (3) 肺活量が 10mL/kg 以下又は最大呼吸量が基準値の 1/3 以下の場合
  - (4) 過換気の患者
  - (5) 強度の疼痛がある患者
  - (6) 広範囲な肺虚脱や浸潤陰影を呈する患者
  - (7) 気腫性肺の圧外傷の患者
  - (8) 気管支攣縮の患者
  - (9) 疲労している場合
  - (10) 感染している患者
  - (11) フェイスマスクなどによる酸素吸入が中断される場合
  - (12) 気管切開を受けている場合
2. 感染防止のためにも、同一患者個人専用として使用すること。
3. 滅菌により材質の変化、破損の恐れがあるので、滅菌はしないこと。

### 【形状・構造及び原理等】



本品はマウスピースから息を吸い、設定した数のボールを筒の最上部まで上昇させ、吸気を持続することで肺胞を膨らませる呼吸練習器である。

<原材料>  
マウスピース:ポリプロピレン

### 【使用目的、効能又は効果】

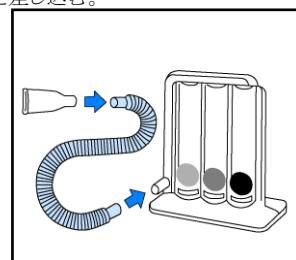
本品は、収縮した肺胞内にゆっくりと一定のスピードで持続的に息を吸い、空気を取り入れ拡張する最大吸気持続法(Sustained Maximal Inspiration)の練習に用いる。

### 【品目仕様等】

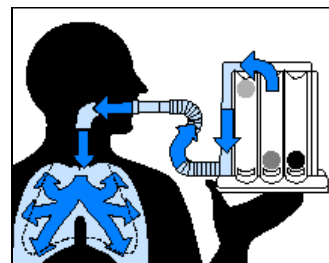
1. 吸気流量の流量誤差: ±10%以内
2. 各筒の流量: 150 mL/秒以上の差がある

### 【操作方法又は使用方法等】

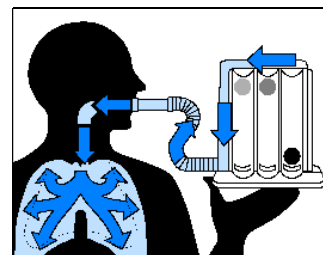
1. 時間(秒)がすぐ確認できるところに時計を用意する。
- ※※2. マウスピースを青い蛇管に取り付け、蛇管のもう一端を器具本体前面の取付け口にしっかりと差し込む。



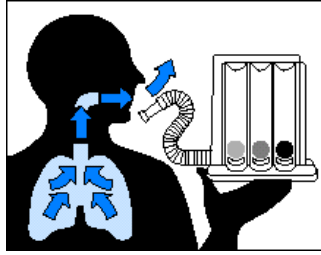
3. 器具を垂直に立て、マウスピースを唇でしっかりとくわえる。
4. 器具の中に息を普通に吐き出し、そのままゆっくり吸気に移る。
5. 少ない吸気量で練習する場合は、3個のボールの内、手前のボールのみが筒の最上部まで上がるように、なめらかに息を吸い、その状態を3秒間続ける。このとき2個目のボールが筒の中を上下しないように注意する。



6. 吸気量を多くして練習する場合は、3個のボールの内、手前2個目のボールをできるだけ長く筒の最上部まで上げ続けるようになめらかに息を吸い込む。このとき3個目のボールが筒の中を上下しないように注意すること。

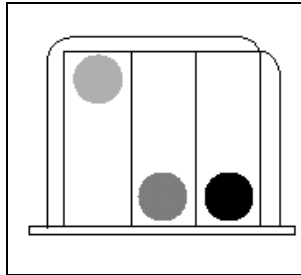


- ※※7. 吸気した後はマウスピースを唇から離し、普通に息を吐き出す。身体力を抜いてリラックスし、しばらく普通の呼吸を行うこと。その後、医師および医師の指示を受けた専門の医療従事者の指示に従って以上の練習を繰り返す。

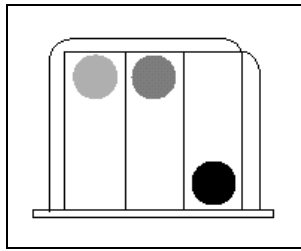


[吸気流量の目安]

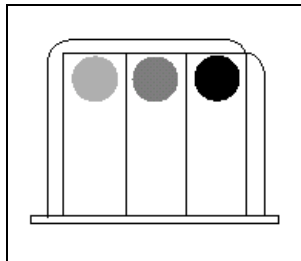
1 個: 水色のボールが筒の最上部にあるとき=600mL/秒



2 個: 水色と青色のボールが筒の最上部にあるとき=900mL/秒



3 個: 3 個全部のボールが筒の最上部にあるとき=1200mL/秒



## 【包装】

\*\*\*本体 1 台、蛇管 1 本、マウスピース 2 個/箱

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び

### 住所等】

製造販売元

\*\*\* 日本コヴィディエン株式会社

〒437-0004 静岡県袋井市友永1217の1

※お問い合わせ先:0120-998-971

製造元

滋杏有限公司

国名:台湾

## 【使用上の注意】

### 重要な基本的注意

- 包装の破損したもの、開封済みのもの又は水濡れしたものは使用しないこと。
- 包装を開封したら、速やかに使用すること。
- \*\*\*●機器の使用中は次の事項に注意すること。
  - ・練習方法は医師および医師の指示を受けた専門の医療従事者の指示に従うこと。
  - ・使用する前後にマウスピースを温水で洗浄後、乾かすこと。マウスピースは清潔にして使用すること。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

### 1.貯蔵・保管方法

室温下で、水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。